

SNSによる草の根発信事業「ぐんま応援ひと」

第3回コンテスト「絹の国ぐんま大発見」入選作品決定！

「絹の国」を感じられる場所、人、思い出の品などをテーマに、ツイッター及びインスタグラムで写真や動画を募集し、厳正な審査により入選作品10点を決定しました。
入選作品は、県、関係団体や企業によるPRに活用します。



1 入選作品

順位	投稿者	作品名	種別
1	tkhs708	晩秋蚕繭 荷受け	写真
2	@meeeeee331o	蚕の波	〃
3	hide.photo.since_2019	歴史を感じる寄宿舍	〃
4	@bax_oh	あの頃のお洒落を現代へ	〃
5	@sa9un	紡ぐ	〃
入賞	kawano_yasuyuki	刻を紡ぐ	〃
	xinjingayumi6	高山社跡遊歩道の竹林ライトアップ	〃
	nodama_136	蚕のお母さん	〃
	midorinoyamabito	養蚕の技法を伝えた高山社	〃
	tomoohiro.n	和洋折衷	〃

※詳しくは、別紙を御覧ください。

※写真提供は御連絡ください。写真を掲載する際は、「投稿者名」「作品名」を表記願います。

※県公式 YouTube チャンネル tsulunos で、受賞者のコメントと併せて作品を紹介する動画を公開します。

2 募集期間

令和2年9月1日～10月31日

3 応募件数

投稿173件（作品数：写真507点、動画6点）

4 副賞

第1位88,888円、第2・3位8,888円、第4・5位かこの王国チョコレートを贈呈。

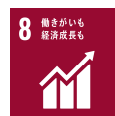
【事業概要】







(参考)「ぐんま応援ひと」とは

県民の皆さんや群馬ファンの方々が主役となり、身のまわりにある心惹かれる風景や誇れるものなどを「ぐんまの魅力」として、写真や動画で世界に発信していただく事業です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



順位	投稿者	作品名	撮影場所	写真	本文 ※ハッシュタグは適宜削除しています
1位	tkhs708	晩秋蚕繭 荷受け	JA甘楽富岡 富岡営農センター 集荷場		お蚕さんに桑を遣り、繭になるまで育て上げ、晴れて荷受けの日を迎える。 他の養蚕農家さんと顔をあわせて、その時期の繭の出来を確認め合うことがひと時の喜びでもあり、次の蚕期への励みにもなる。 これからも養蚕を続けていこうと改めて思う瞬間です。
2位	@meeeeee3310	蚕の波	養蚕農家 (前橋市)		『蚕の波』 桑の海があれば、蚕の波もある。 それが、海なしぐんま、ですね。
3位	hide.photo.since_2019	歴史を感じる寄宿舍	富岡製糸場		群馬県富岡市にある『富岡製糸場』です👏👏 世界遺産でもあり、国宝でもある富岡製糸場👏👏 ずっと行ってみたいって思ってた場所👏👏 写真は寄宿舍です★ 富岡製糸場の敷地内は昔ながらの建物が多くありますが、寄宿舍は好きな感じの建物だった👏👏 工場内や繭を保管していた巨大倉庫も撮ったので投稿しますね👏👏
4位	@bax_oh	あの頃のお洒落を現代へ	いせさき明治館		伊勢崎銘仙 併用拵織り
5位	@sa9un	紡ぐ	安中市間仁田の桑畑		ふと興味を持つと止まらない娘ちゃん。 まだまだ長いお蚕ブーム。 本当にお蚕様を育てる人になるのかも。

入賞	kawano_yasuyuki	刻を紡ぐ	富岡製糸場 東置繭所2階		<p>富岡製糸場は、2014年ユネスコの世界文化遺産に登録された。1872年（明治5）に、明治政府が主要輸出品である生糸の品質向上と増産のために、器械製糸技術を普及させる目的で設立した官営のモデル工場。1987年（昭和62）に操業を停止するまで様々な技術開発を続け、蚕の優良品種の開発とその普及も主導した。また、和洋技術を混合した工場建築の代表とされ、創業当初の主要な施設がほぼ現存している。</p>
入賞	xinjingayumi6	高山社跡遊歩道の竹林ライトアップ	高山社跡と高山社情報館を繋ぐ竹林の遊歩道		<p>昨年開催された世界文化遺産の高山社跡にある竹林のライトアップです🌟 カラフルな傘や風鈴も飾られていて素敵な夜の竹林でした🌸🌸 今年は更にバージョンアップされた竹林のライトアップが楽しめるとの事でしたが残念ながら今年は中止だった様です🌧 また来年に期待ですね🌸🌸🌸</p>
入賞	nodama_136	蚕のお母さん	養蚕作業場（太田市）		<p>群馬県のSNSによる草の根発信事業「ぐんま応援びと」の第3回のテーマが絹の国ということで。 養蚕頑張ってる小柄でかわいい女性をぜひ紹介したいなと思います。以前に撮った写真でもいいとのことなので、再アップ。 6月のある日、吉野香さんが養蚕に取り組む倉庫にお邪魔したら、今日、回転族にお蚕さんたちをあげたと。ちょっと早かったかな、お腹の辺りが透けてきているからそろそろだと思うんだけど、とチェックしている後ろ姿。 小柄な吉野さんが桑切りとか、お手伝いがあるとしても大変だと思う。でも、お蚕さんが命をかけて糸を吐いてくれたものを使わせてもらってる。と話す吉野さん。 優しい笑顔の蚕のお母さん。</p>
入賞	midorinoyamabito	養蚕の技法を伝えた高山社	高山社跡		<p>10月11日撮影📷 世界遺産 絹産業遺産群の1つ高山社跡 解説を受けると高山社に全国から教えを受けにいられていて勉強されていたようすがわかります。 養蚕に使われた道具を見ると子供の頃に桑の葉を与えて、時には扇風機、ストーブを焚いて温度管理していた父、祖母の忙しく養蚕をしていた頃を思い出しました。 繭玉になる糸を出すおカイコさん、四角い枠に収めて繭玉になったら、繭玉かき よく子供の頃に手伝いさせられた。でも、それが幼少の頃おもしろく、褒められて頑張っていたな。～(笑)</p>
入賞	tomoohiro.n	和洋折衷	富岡製糸場 西置繭所		<p>【和洋折衷】 #今で言うところの #コラボレーション #往時を偲ぶ #バルコニー #明治の建物 #木造建築 #日本瓦 #煉瓦倉庫 #フランス積み</p>